

# 県中農林 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま

第40号

令和7年5月28日

○特集 P1～2

○GAP 取得者紹介 P11

○農林関係の動き P3～11

○お知らせ P12

お問合せはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

## 特集

### 新任幹部職員をご紹介します



総務部 副部長

佐藤 洋介

県中農林事務所総務部副部長に着任しました佐藤洋介です。

県中地方は初めての勤務となります。

祖父母の家が安積疏水の原点となった十六橋水門の近くにあったため、子どもの頃に見ていた景色やファン・ドールン像の姿を懐かしく思い出します。今は、改めて安積疏水事業の偉大さを感じるとともに、郡山で農林分野の仕事に携われることに大きな縁を感じております。

多彩で魅力あふれる農産物の産地である県中地方のお役に立てるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

このたび、農業振興普及部長に着任しました志賀忠市です。

当事務所での勤務は初めてですが、県内の1/4を占める耕地面積と農業産出額を誇る県中地方の農業振興に携われることを光栄に感じております。

また、当地方は郡山、田村、須賀川の各地域で特色ある農業が展開され、郡山市などの消費地を抱えると同時に交通の要であることから、直売所等も多く直売活動が盛んな印象があります。

これらの特徴を強みに、皆様とともに、担い手の育成、産地づくりやブランド化を柱に、県中地方の農業振興に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



農業振興普及部長

志賀 忠市



農村整備部長  
まつもと 幸治

4月より、農村整備部長に着任しました松本幸治です。郡山市に住んでいるので一度は県中農林事務所に勤務したいと思いつけ、ようやく願いが叶いました。

特色ある農業を展開している当地域において、近年、ほ場整備事業が非常に増えてきております。担い手不足の中、農作業の軽減に向けたスマート農業の活用や高収益作物の導入など、地元の声を聴きながら「もうかる農業」につながるよう関係機関と連携しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

このたび、森林林業部副部長に着任いたしました高橋敦宏です。

県中地方の勤務は初めてですが、林業が盛んな地域から里山、都市近郊の森林までバリエーションに富んだ森林資源が豊かな地域であるとの印象です。

この豊かな森林資源を将来にわたり循環利用が可能な資源としてつなぐとともに、林業・木材産業の振興のため、関係機関の皆様とともに様々な課題に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



森林林業部 副部長  
たかはし あつひろ  
高橋 敦宏



田村農業普及所長  
おいぬま ひでゆき  
生沼 英之

このたび田村農業普及所長に着任いたしました生沼英之です。

初めての勤務地で、豊かな自然と人の温かさに触れ、日々感動しております。夏秋野菜や畜産が盛んなこの阿武隈山系の中山間地域には、誇るべき農業の力と、それを支える生産者の知恵・努力そして可能性があることを肌で感じました。

地域の皆さまと共に「地域づくり」「ものづくり」「ひとづくり」に力を注ぎ、田村地域の魅力を次世代へつなぐお手伝いをしてまいります。一步ずつ着実に歩みを進め、地域農業の物語を未来に紡いでいけるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願い致します。

## 全農復興牧場起工式が行われました

## 【農業振興普及部】

2月10日（月）、田村市都路町において畜産施設新築工事起工式が行われ、約40名が出席し工事の安全を祈願しました。

この施設は、株式会社美土里耕産<sup>みどりこうさん</sup>が、震災・原発事故で被災した地域の畜産業の復興のために整備する県内最大級の畜産施設です。

1,200頭の乳用牛から生乳を生産するとともに、被災地域の畜産農家へ肉用牛や乳用牛の優良種畜の供給が計画されています。さらに、地域の農業者から飼料を購入し、堆肥を農地へ還元する広域的な循環型農業の中心的な施設として、地域農業の活性化に貢献する拠点として期待されます。

施設全体が完成するのは令和8年3月の見込みです。



【畜産施設の完成予想図】



【起工式での鍬入れの儀】

## 田村町田母神集落が農村振興局長賞を受賞しました

## 【農業振興普及部】

2月14日（金）、農林水産省にて令和6年度鳥獣被害対策優良活動表彰が行われ、郡山市田村町田母神集落<sup>たもがみ</sup>が農村振興局長賞を受賞しました。当日は田母神集落区長<sup>まつおかひさし</sup>の松岡久氏と農業委員の先崎孝太郎<sup>せんざきこうたろう</sup>氏が表彰を受け、その後開催された第12回全国鳥獣被害対策サミットにて取組を発表しました。

田母神集落は令和2年度から集落ぐるみで鳥獣対策を始め、生息環境管理や侵入防止対策、猟友会と連携したイノシシの個体数調整に取り組み、着実に農作物被害を減少させていることなどが高く評価されました。



【表彰式の様子（左：農村振興局長、右：集落区長の松岡氏）】



【サミットでの発表の様子】



## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 農林水産物 PR（第3回）を開催しました

【企画部】

県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました。2月18日（火）、あぐりあ（郡山市）で先着200名を対象に、「福、笑い」「ゆうやけベリー」の試食・県産農林水産物についてのアンケートを実施しました。

実際に試食した方からは、おいしいとの意見が大半で、中には売り場を尋ねられる方もいました。

今回のアンケート結果では、農林水産物を購入する際に最も重視する点は「新鮮さ」で55%でした。県中農林事務所では引き続き県産農林水産物のPRを続けてまいります。



【イベントの様子】

## ピーマン専門部会青年部が先進地研修を行いました

【田村農業普及所】

2月19日（水）、JA 福島さくらピーマン専門部会青年部4名が、ピーマンの先進地である茨城県を視察しました。令和7年1月、JA ピーマン専門部会に新設された青年部では、スマート農業技術と天敵農薬を活用した省力化と環境にやさしい栽培技術の実証試験を予定しています。その一環として、先進地である茨城県のJA なめがたしおさいの選果場や茨城県農業総合センターを訪問し、選果や出荷の現場、環境制御や天敵農薬の活用方法を学びました。参加者からは「今後予定している天敵農薬利用中の栽培管理について、知識を深めることができた」との声があり、熱心に視察に取り組みました。



【選果場視察の様子】

## 県中地方 GAP 推進協議会を開催しました

【農業振興普及部】

2月26日（水）、福島県郡山合同庁舎において、県中地方 GAP 推進協議会を開催しました。

協議会では、県や県中地方の認証 GAP の推進状況を説明後に、県中農林事務所管内における団体認証などの特徴的な取組みを紹介しました。

須賀川地域の県 GAP 推進員からは、町の認定農業者会での GAP 制度の理解促進のために講師を務めた事例が、協議会の構成員である全農福島郡山園芸センターからは、3月14日（金）に郡山市にオープンする大規模商業施設のテナントから GAP 認証農産物を取り扱いたいとの相談が入っているとの明るい話題提供がありました。

今後とも関係機関・団体と協力して、第三者認証 GAP 等の取得を推進してまいります。

## 林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和6年度修了式を執り行いました 【林業研究センター】

林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和6年度第3期生の修了式が、3月7日（金）、  
さとうひろたか  
佐藤宏隆副知事出席のもと執り行われ、14名の研修生がそれぞれの志望した事業体、森林組合に就業しました。

修了生代表の吉田沙紀さんよしださきより答辞があり、「福島のエコ産業の明るい未来に向かって、森を育み大切に守り続ける人（そまびと）となる」と決意を新たにしました。

アカデミーを修了した研修生の皆さんは、今後、福島県の林業の中核を担う存在として活躍することが期待されます。



【吉田沙紀さんによる答辞】



【第3期生14名が研修を修了しました】

## 令和7年度県中地方防霜対策本部を設置しました

【農業振興普及部】

県中農林事務所では、農作物の凍霜害を未然に防止するため、3月19日（水）、県中地方防霜対策本部を設置し、関係機関と連携して気象情報の迅速な収集と伝達、凍霜害防止に向けた技術対策の啓発を行っています。

防霜対策期間は常に気象情報に注意を払い、凍霜害発生が予測される場合は燃焼資材等による対策の実施をお願いします。



【防霜対策本部看板設置の様子  
(左から半沢部長、廣田所長)】

## 遊休農地解消へ！アーモンド苗木を定植しました

【農村整備部・須賀川農業普及所】

須賀川市<sup>おぐら</sup>小倉地区では、遊休農地が年々増加しているため、その対策として国営総合農地開発地区農地耕作支援事業を活用し、令和6年度からアーモンドの地域適応性の調査を開始しました。

令和7年2月に遊休農地約40aを解消し、うち20aに3月27日（木）、小倉地区の住民、関係機関・団体等でアーモンドの苗木40本を定植しました。アーモンドは4、5年で収穫開始の見込みです。

今後も事業を活用してアーモンド等の地域適応性の調査を継続し、遊休農地の有効活用方法を検討していきます。



【定植作業の様子】



【定植後の様子】



## 森林保全巡視員辞令交付式・県中地方森林パトロール協議会を開催しました 【森林林業部】

4月1日（火）、県中農林事務所管内の保安林や<sup>けんこう</sup>県行造林地の巡視業務を担う5名に所長から辞令を交付しました。

辞令交付後は令和7年度県中地方森林パトロール協議会を開催し、巡視活動における留意事項の伝達や情報交換を行いました。その中で、先に発生した岩手県大船渡市の山火事を事例に、入山者などに対する山火事防止の普及啓発のお願いや、近年出没が多い熊の遭遇状況について情報共有を図りました。

県では巡視員の方々の1年間を通した巡視活動の結果をもとに、保安林・県行造林地における林木の生育状況確認や林地崩壊等の早期発見、適正な保全管理に取り組んでまいります。



【廣田所長より辞令交付】



【パトロール協議会で情報交換】

## 復興基盤総合整備事業で作付けが開始されました

## 【農村整備部】

復興基盤総合整備事業<sup>きたうつし</sup>北移地区、<sup>かみいわいさわ</sup>上岩井沢地区（田村市）は令和7年3月に区画整理工事が完了し、4月から地区全域の作付けが開始されました。

これらの地区は、急傾斜地であり岩石や湧水が発生するなど現場条件が厳しい中、対策工事や環境省の発生土を水田や道路盛土へ利用するなど有効利用を行いながら工事の進捗を図り計画どおり完了することができました。

今後は、復興基盤総合整備事業が完了し、担い手へ農地の利用集積が進み農業生産の向上が期待されます。



【北移地区工事完了の様子】



【営農の様子】

## 4月は農業水利施設管理強化月間です

【農村整備部】

県内には農業水利施設が約7,000箇所あり、農地へ水を安定供給し、農産物の品質と収量を確保するうえで、重要な役割を果たしています。主な農業水利施設は、市町村や土地改良区が管理していますが、多くは地元の水利組合や集落、関係する農家の方が草刈りや土砂上げ、水門操作などの日常的な管理により健全性が確保されています。県では、営農が始まる4月を「施設管理強化月間」に位置づけ、使用前に施設を点検することで、故障や事故の発生を未然に防ぐほか、施設管理者に水利施設の機能、重要性を再認識していただいております。



【ため池・水路の点検状況】

## 林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和7年度入講式を執り行いました 【林業研究センター】

4月7日（月）、林業アカデミーふくしま就業前長期研修第4期生の入講式が、さとうひろたか佐藤宏隆副知事及びにしやまなおとし西山尚利県会議長の御出席のもと執り行われ、6名の研修生が林業の世界に新たな一歩を踏み出しました。

研修生代表誓いの言葉では、わたなべじゅん渡邊 淳さんから「この恵まれた環境で高い専門性を養い、研修生一同、それぞれの目標に向けて日々研修に励みたい」と研修生活への決意を表明しました。

研修生はこれから1年間かけて、林業に必要な知識、技術などの習得を目指します。



【研修許可書及び研修貸与品交付】



【第4期生6名が入講しました】



## こおりやま園芸カレッジ入校式が開催されました

## 【農業振興普及部】

4月8日（火）、郡山市園芸振興センターにて、こおりやま園芸カレッジの入校式が開催されました。

こおりやま園芸カレッジは、野菜や花などの園芸作物で就農する意欲ある農業者を育成するため郡山市が行っている長期研修プログラムです。令和7年度は伊藤慎之助さん<sup>いとうしんのすけ</sup>と二瓶千明さん<sup>にへいちあき</sup>、二瓶亮二さん<sup>にへいりょうじ</sup>の3名が入校し、1年間、きゅうり等の園芸作物の栽培技術や経営管理を学びます。

農業振興普及部では、郡山市園芸振興センターと連携して、3名の円滑な研修の実施と就農の実現を支援してまいります。



【二瓶亮二さんによる決意表明】



【入校式集合写真】

## 令和7年度 JA 夢みなみ園芸振興大会が開催されました

## 【須賀川農業普及所】

4月8日（火）、JA 夢みなみは須賀川市内のグランシア 須賀川で園芸振興大会を開催しました。須賀川・白河・石川地区の野菜、果樹、花きの生産者や関係機関等約220名が出席し、生産振興に功績があった生産者や法人に対して表彰状を送りました。

JAからは管内の園芸品目の生産の現状や営農支援体制、令和7年度販売対策及び販売計画について、県中農林事務所からは園芸品目ごとの生育状況について説明後、生産者の所得安定と安定生産・出荷に向けた大会スローガンが決議されました。



【佐々木組合長あいさつ】



【大会の様子】

## 令和7年度「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催しました

【須賀川農業普及所】

昨年度に引き続き、今年度も須賀川農業普及所主催による、きゅうり栽培年数が概ね5年以下の経験が浅い管内生産者を対象とした「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催しています。

第1回は4月10日（木）、当所で露地きゅうり栽培の基本やJA夢みなみのきゅうり選果場の「きゅうりん館」利用について、第2回は4月17日（木）、県農業短期大学校で補助事業や収入保険制度、農作業安全について研修を行いました。各回約15名の生産者が参加し、技術の習得や情報共有を行いました。

今年度は計7回の研修を企画しており、第3回は6月中旬に現地圃場での研修を予定しています。



【農業短期大学校での研修の様子】

## 令和7年度 JA 福島さくらたむら地区園芸振興大会が開催されました

【田村農業普及所】

4月11日（金）、JA 福島さくらたむら地区園芸部会が設立30周年を迎え、園芸振興大会が田村市船引町の迎賓館辰巳屋で行われ、部会員、県、各市場、資材・農薬メーカー、JA職員等の約100人が出席しました。JAが令和7年度の事業計画や主要品目取り組み事項等を説明し、販売目標額11億3,400万円を目指すことが示されました。記念講演会も開かれ、株式会社西友の吉川和美<sup>よしかわかずみ</sup>氏がバイヤーから選ばれる産地と求める青果物について講演をされました。田村農業普及所では、会場に設けられた営農相談ブースにおいて、高温対策技術に関する相談対応や情報提供を行いました。



【園芸振興大会の様子】



国連食糧農業機関（FAO）ブータン事務局のロディ氏、ブータン国立きのこセンターのカルマ氏ら4人が、国際協力機構（JICA）の協力隊員としてブータンできのこ栽培指導を行っている熊田<sup>くまたあつし</sup> 淳氏をナビゲーターに、4月13日（日）から23日（水）にかけて来県し、きのこ栽培関係について研修を受けられました。

当管内では4月18日（金）、（有）鈴木農園と（有）橋本商会を視察されました。鈴木農園ではなめこの菌床栽培状況と、廃菌床を畑の肥料に利用した循環システムを、橋本商会ではしいたけ栽培における最新の空調システムの構造を学びました。

ブータン王国は耕地面積が2.6%と少なく、大規模施設による大量生産は難しいため、収益率の高いきのこ栽培に着目し、少量生産・高品質化を目指しているそうです。

皆さんはなめこ栽培や流通に関することなど、様々な知見を得ることが出来たと喜んでいました。県内で習得した技術や知見をブータンのきのこ産業の発展に活かすとともに、福島県とブータンの絆になることを期待しています。



【ブータンの皆さんと（鈴木農園にて）】

## GAP 取得者紹介

① 取得者名(市町村) ② GAPの種類(取得した品目) ③ 取得者から一言



【右：菅野氏、  
左：生沼田村農業普及所長】

- ① 株式会社<sup>エム</sup>Mファーム 代表取締役 <sup>かんのかつまさ</sup>菅野勝理（田村市）
- ② FGAP（穀物（水稻））
- ③ GAP 認証を取得したことで、信頼できる農場であることをアピールしつつ、販路拡大を図り、今後は更に安全・安心な農産物の生産に努めて消費者に喜んでもらえるような農場にしていきたいと思っています。  
また、GAP の取組みについて地域の人たちに理解と広がりを進めてまいります。

### GAP の種類

- ・ GLOBALG.A.P 国際的に広く適用する第三者認証 GAP
- ・ ASIAGAP 日本発の国際基準認証
- ・ JGAP 日本のデファクトスタンダードの GAP
- ・ FGAP 福島県による公的認証 GAP

県中農林事務所作成動画 令和 6 年度 トップコンテンツのご紹介 【企画部】



新規採用職員が指導会デビューしました。

令和 6 年度作成動画 25 本中

再生回数 堂々の第 1 位！

公開日：10 月 11 日

再生回数：945 回（R7.5.15 時点）

いいね数：30

令和 6 年度に県中農林事務所で作成した動画 25 本のうち、一番再生回数が多かったのは【新規採用職員が指導会デビューしました。】でした。（R7.5 時点）

こちらの動画は令和 6 年度に新規採用された須賀川農業普及所の<sup>こあらい</sup>小荒井技師に密着した動画で、キュウリの栽培指導会デビュー当日までの様子を紹介しています。制作は、須賀川農業普及所の<sup>こやなぎ</sup>小柳技師と、<sup>はしもと</sup>橋本所長です。

小荒井技師の初々しいデビューの様子は、見ているこちらにも思わず応援したくなります。また、密着を通して、農業普及所の業務も皆様に知っていただける動画となっております。ぜひご覧ください！

＼チャンネル登録お願いします！／



←福島県農林水産部公式 YouTube 「1400 のネタばらし」はこちらから  
<https://www.youtube.com/channel/UCqP88JOqCub5659DrEfz2sw>

県中農林事務所が作成した「1400 のネタばらし」はこちらから→  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-1400.html>



ふくしまを応援する「ペコ太郎」